

事業番号	10 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課			
			実施期間	S48 ～	E-mail	ringyo @ pref.nagano.lg.jp			

1 現状と課題

- ・本県は、森林を育てる時代から利用する時代を迎え、主伐の推進や県産材供給体制の整備等により、素材生産活動が本格化しており、林業就業者の確保と育成が必要。
- ・林業就業者の雇用は、林業作業の季節性や事業主の経営基盤のぜい弱性により必ずしも安定しておらず、労働災害の発生率は全産業で最も高い。

2 事業目的

林業就業者の確保・育成を図るため、林業事業体の事業の合理化、雇用管理の改善等を推進するとともに、多様な人材の活用を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①新規就業者の確保と就業環境の改善

- ・就職説明会や就業希望者向けの研修、オンラインセミナー等の開催
- ・林業事業体の福利厚生等の充実及び林業への新たな就業の促進に向けた支援
- ・安全訓練環境の整備、安全研修や安全パトロールの実施
- ・人材育成機関及び試験研究機関の連携により森林・林業を支える人材の育成・輩出及びイノベーションの創出に向けた取組を支援
- ・原油・原材料価格の高騰に直面する事業者のエネルギーコストの削減を促進するため、省エネ・再エネ設備の導入等に要する経費を助成

②スマート林業の推進及びスマート林業を用いた問題解決

- ・労務軽減に資する高精度GNSS測量等の機器等の導入を支援
- ・林業事業体等を対象に、GNSS測量、GIS、ゾーニング等スマート林業技術について活用可能な人材を育成
- ・低コスト再造林技術の推進のためのモデル公募・実証

③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資

- ・林業、木材産業に携わる事業者等が、設備等の導入にあたって必要となる資金を融資
- ・林業就業者確保のために、就業準備及び研修参加に必要な資金を融資

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	移住又は他産業からの転職等による林業就業者数	人	88	76	↘	80	↗	77	達成 新規に林業へ就業した移住者又は他産業からの転職者等の直近3年平均を基に目標を設定し、人材の育成・確保を目指す
②	スマート林業技術を導入した事業体数（累計）	社	59	68	↗	74	↗	69	達成 R5年度時点で約6割の事業体導入があるスマート林業技術について、R9年度までに約8割（約80者）の技術普及を目指す目標として設定
③	改善資金の貸付件数	件	2	3	↗	5	↗	3	達成 直近5年間の事業実績(平均1.5件)の約2倍の貸付件数を目標として設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	中核的林業事業体数	事業体	2023 (R5)	56	2024 (R6)	61	2025 (R7)	63	2027 (R9)	66
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規林業就業者数	人/年	2023 (R5)	147	2024 (R6)	117	2025 (R7)	128	2027 (R9)	120
4-3①	働き方改革の推進と就労支援の強化										

6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	214,105	66,764	280,869	15,379	230,509	7.6
R6年度	0	183,976	△ 57,408	126,568	16,347	123,026	7.7
R5年度	27,523	170,522	△ 52,343	145,702	10,649	123,881	7.6

事業番号	10 02 02	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課		

7 主な取組実績と成果

①新規就業者の確保と就業環境の改善

- ・共同就職説明会や就業希望者向けの相談会、オンラインセミナー等を開催し、累計172名の就業希望者に対して本県の林業の魅力や林業就業等について、説明を行った。
- ・退職金制度加入補助に加え、振動病特殊健診受診や蜂アレルギー検査受診等の安全衛生確保を推進するため、累計1,874名に支援を行い、林業事業体の福利厚生の充実を図った。
- ・VRシミュレーターをさらに1台追加導入し、林業大学校や上伊那農業高校の授業、イベント等で活用することで、安全に向けた機械操作訓練及び林業PRを行った。
- ・省エネ・再エネ設備の導入等に要する経費の助成については、令和8年度に繰越して実施。



②スマート林業の推進及びスマート林業を用いた問題解決

- ・スマート林業技術を活用して皆伐等の素材生産事業等を行う林業事業体9者に対して、システム等の導入を支援。
- ・ドローン・GIS・解析ソフト・各種システム等のICT技術を高度に利活用する人材を育成するための研修会を開催し、累計102名が参加した。

③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資

- ・林業事業体や融資機関等に対して改善資金制度の周知を継続したことにより、5者に貸付を実施。
- ・林業大学校生に林業就業促進資金制度の周知を継続したことにより、3者に貸付を実施。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	移住又は他産業からの転職等による林業就業者数	R6年度推移	↘	R7年度推移	↗	達成状況	達成
支援制度がより認知され、新規就業者の確保や就業環境の改善に関する取組により、移住又は他産業からの転職等による林業就業者数は増加している。							
指標 ②	スマート林業技術を導入した事業体数（累計）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
令和3年度以降、スマート林業技術を導入した事業体数が着実に増加しており、スマート林業の普及は進んでいるが、想定よりも時間を要している。							
指標 ③	改善資金の貸付件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
令和3年度及び令和4年度は0件だったが、継続的な制度周知の結果、令和5年度は2件、令和6年度は3件、令和7年度は5件と上昇傾向にある。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

①新規就業者の確保と就業環境の改善

- ・新規学卒者は、前職のある中途採用者と比べて就職にあたっての資金が少なく、県外からの転居を伴う就業は負担が大きい。
- ・造林・保育作業などの事業量の季節的な増加に対応するために、兼業や短期雇用など多様な働き方を推進する必要がある。
- ・林業には、新規学卒者や中途採用者、兼業や短期雇用など様々な者が就業していることを広く周知していくことが必要である。

②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた問題解決

- ・スマート林業技術の導入や技術者の育成が遅れている林業事業体では業務の効率化が図られず、事業体間で格差が生じている。

③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資

- ・より一層の制度資金活用に向けて、林業事業体や融資機関、林業大学校生等への周知継続が必要。

(2) 事業改善の方策

①新規就業者の確保と就業環境の改善

林業就業希望者向け説明会やHP・SNSによる発信を通じて、多様な者が活用しやすい支援策の周知に努めるとともに、労働安全環境をさらに充実させることにより、林業就業者の一層の確保と就業環境の改善を図る。

②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた問題解決

スマート林業技術の導入支援や技術者の育成により、林業事業体の業務の効率化など、スマート林業技術を用いて課題解決を図る。

③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資

事業体説明会等での制度周知継続に加え、要望調査等により資金の潜在ニーズの把握に努める。

事業番号	10 02 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	林業就業者確保・育成事業		78,010 千円	69,137 千円	88,081 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林整備担い手育成確保総合対策事業	直接 補助金	・新規林業就業者確保のための共同就職説明会の開催等 ・林業労働力確保支援センターに対する補助 共同就職説明会：2回、信州就林セミナー：2回		
2	信州の森林で働く人材確保推進事業	補助金	・県外からの移住により林業に就業する者への移住経費の支援 ・他産業から林業に転職する者及び新卒者への就業準備経費の支援 移住支援：13人、林業キャリアスタート支援：59人		
3	林業労働力緊急確保対策事業	補助金	・林業事業体の新規就業者（短期雇用含む）に対する奨励金の給付 ・林業に就業する前の準備講座の開催、資格取得に対する補助等 新規就業者数(うち実績)：128人(11人)、林業新規就業講座：2回		
4	林業労働力活用促進対策事業	補助金	・地域を超えて労働力を移動する場合の機械運搬や通勤費に対する補助 ・林業団体による専門家派遣や森林経営計画策定等の研修会に対する補助 マッチング箇所：11箇所、専門家派遣補助：2件		
5	多様な林業の担い手確保育成事業	直接 委託 補助金	・中学校における職場体験事例調査、教材制作及びイベントの開催等 ・装備品や特殊健康診断等の職場環境の改善を図る事業者に対する補助 ・創業等に必要な初期投資に対する補助 中学校における体験支援：3校、林業創業支援：5事業体		
6	林業就労条件整備促進事業	補助金	・林業事業体が就労条件改善して実施する、退職手当掛金、蜂アレルギー検査、エピネフリン注射器購入、振動病検診費用等の経費に対する補助 退職金共済掛金：674名分、蜂アレルギー検査：301名分、振動病検診：693名分		
7	林業労働災害防止対策事業	直接 補助金	・安全衛生指導員による林業事業体に対する安全巡回指導 ・伐木チャンピオンシップ大会の開催 安全巡回指導等：29回、労働安全衛生対策セミナー等：2回		
8	林業士等養成事業	直接	・森林・林業セミナーの開催、林業士入門講座の開催 ・林業士を認定するための認定審査委員会の開催 森林・林業セミナー参加者：15人、林業士入門講座参加者：3人		
9	木曽谷・伊那谷フォレストバレー形成事業	直接 委託 補助金	・木曽谷・伊那谷運営協議会の運営、関係機関の連携促進 ・メインプロジェクト・関連プロジェクトの実施 プロジェクト実施数 10プロジェクト		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	森林組合等活性化対策事業		16,981 千円	14,240 千円	28,898 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林組合等活性化対策事業	直接	・森林組合法に基づく常例検査の実施 ・生産森林組合・入会林野の管理・経営改善のための指導・助言 全面検査数：12組合（うち会計士同行6組合）、部分検査数：6組合		
2	持続的な林業経営の確立支援事業	直接 委託	・安全技術、林業技術の学び直しの集合研修の実施 ・事業体ごとの課題に合わせた個別研修の実施 ・林業ロールモデルの作成普及 集合研修：2回、個別研修：8回		
3	スマート林業構築普及事業	直接 委託 補助金	・スマート林業を実践するために必要な機器等の導入に対する補助 ・スマート林業を実践する人材の育成 ・主伐・再造林を推進する先端林業技術のモデル公募・実証 支援事業体数：9事業体		
4	エネルギーコスト削減促進事業	補助金	持続可能な経営基盤を構築するため、省エネルギー設備等の導入を支援 全額令和8年度に繰越して実施		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	林業事業体支援事業		28,890 千円	34,017 千円	113,530 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業・木材産業改善資金貸付金	貸付金	・林業、木材産業に携わる事業者等が、設備等の導入にあたって必要となる資金を融資 県から事業体への貸付件数：5件		
2	林業就業促進資金貸付金	貸付金	・林業就業者確保のために、（一財）長野県林業労働財団を通じて就業準備及び研修参加に必要な資金を融資 労働財団から就業者への貸付件数：3件		